

中野弥生町三丁目プロジェクト

空き地の新たな活用法の検討

活動地域

東京都中野区弥生町三丁目周辺地区

活動期間

2016年～継続中

活動体制

工学院大学野澤研究室

UR都市機構

川島商店街振興組合

活動キーワード

木造密集市街地 # 公共的空間利用
商店街活性 # 空き地利用
暫定利用

所属メンバー

M2 芹澤啓昭 高橋豪太 柳澤加奈

B4 板垣和樹 野沢美友 彌吉美成

B3 高橋颯太 丸山香奈恵 西巻奈緒

増澤慧 中嶋美月 八木澤葵



プロジェクト概要

本プロジェクトは中野区弥生町三丁目にて発生した空き地をどのようにして活用していくか検討を行っている。この地域は木造住宅が多く密集しているため、東京都の不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)の指定を受け、防災まちづくりに集中的に取り組んでいる。そんな中、UR都市機構が保有する敷地を活用し空き地利用を促進させる試みをしている。また、三丁目中心部に位置する川島商店街とも協力して活動を行っている。



活動経緯

弥生町三丁目周辺の防災整備事業を行う際にUR都市機構が取得した従前居住者用の代替地(現在は不燃化促進用地として防災フェンスが設置されている)を対象に空間活用を行ってきた。これまでの活動は空き地空間の利活用を行ってきたが、安全上の理由から敷地の前面の利用に変更となった。昨年度からは「まちなか黒板」を敷地の前面に設置し自由な利用と学生側が仕掛ける複数のアクションを行っている。

これまでの活動

2016

対象地の特性を把握するための現地調査や、空き地の活用方法を学習するための事例研究を行った。

2018

ハロウィンや東京行灯祭など商店街主催のイベントへの協力と、適合した自主的な用地活用モデル企画を行った。安全上の観点より、敷地前面のフェンスを利用した活用案を検討し、2019年に黒板を設置し、利用を開始した。

2019

2018

アンケート調査やイルミネーションなどを実施し、「居心地の良い場づくり」に繋がる活動を行った。

2022



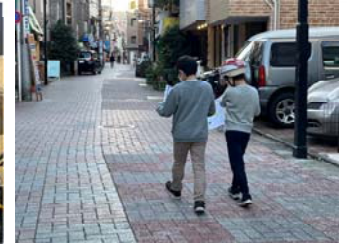
黒板塗り直し



植栽ワークショップ



KJ法



謎解きまち歩き

今年度の活動内容

今年度は、活動を行っていく中でロードマップと合わない点があったため、ロードマップの見直しを行った。中期目標として、昨年度のイベントを参考に引き続き「居心地の良い場づくり」に繋がる活動を継続的に実施した。その際に地域住民の任意活動が発生しやすいような提案を行い、地域の人たちが自分たちで居心地の良い場づくりを行うきっかけを作れるように活動を行った。具体的には、植栽ワークショップと謎解きまち歩きを行った。また、住民のニーズを把握するためにKJ法を用いたワークショップを実施した。

ロードマップの見直し

活動の計画を示す、ロードマップについて、見直しを行った。長年住まわれている高齢者の方々、主婦や子供たちなどの様々な年代が暮らしやすいまちという将来像を掲げた。

また、「川島商店街の人が主役の居心地の良い空間・景色をつくり、ふらっと訪れたいまち」「街の資源を活かした地域の活性化を通して魅力向上を図る」など、将来像へ向け5つの目的を設定した。それに伴い、各年度の活動についても見直しを行った。

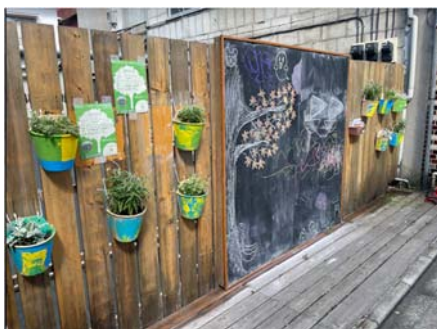
まちなみマップの作成

商店街の方から依頼があり、まちなみマップを作成し、イベントなどに活用した。



植栽ワークショップ

地域の人との交流を継続的に保つための、居心地の良い空間形成の一つとして植栽ワークショップを行った。植栽の設置だけではなく、居心地の良さを模索するKJ法を用いたワークショップを実施した。



謎解きまち歩き

街並みマップの周知と活用を目的とし、参加者が実際にまちを歩くことができる、まち歩きイベントとして、「中野弥生町 謎解きタイムトラベル～街を歩いて謎を解き明かせ～」を開催した。



来年度の活動予定

【イルミネーション】

ロードマップより、継続的にイベントを行っていくことを目標に、イルミネーション企画検討中。

【植栽の管理について】

植栽ワークショップで黑板前に植えた植栽の管理を継続していき、いづれは住民の方に協力を仰ぎたいと考えている。

【アンケート集計】

KJ法で集まった意見や謎解きまち歩きで行ったアンケートなど、集計結果を今後の活動に活かしていきたいと考えている。